

☎ 197-0827

あきる野市油平 49-7-103

電話：042-532-3080

FAX：042-532-3081

e-mail:kusasigi@nifty.com

共同代表：柏倉倫子・岩田純子

http://www.geocities.jp/yt_ayumukai/

辻よし子と歩む会



「辻よし子と歩む会」は、どの党派にも属さない、普通の市民の集まりです。地縁・血縁とも無関係で、何のしがらみもありません。一人ひとりが自分の意志で市政に関わることが、何よりも大切と考えています。

★「小さな声」にある真実

日々の暮らしの中で、「これでいいのだろうか？」と小さな疑問を持つことがあります。

しかし、大きな組織や力を持った人たちを前に、自分の疑問や意見を出すのは、大へんです。「自分だけが言っても……」「自分だけなら我慢しよう」と、声を出さずに終わってしまうことが少なくありません。しかし、小さな声にこそ真実が秘められていることが多いのではないのでしょうか。

★「つながる」ことでわに

小さな声は大きな声にかき消され、同じ思いを持った人たちの声が、なかなか聞こえてきません。

でも、小さな声は、実はあちらこちらにあるのです。その一つ一つが繋がったとき、「これでは、おかしい！」「なんとかしたい！」という思いが共有され、「じゃあ、どうやっていこうか」と問題を解決していく力が生まれます。



検索

ぜひ、一度ホームページをのぞいてみてください！

「辻よし子と歩む会」で検索

★手作りの市政を

そうやって、自分たちの暮らしの中にある課題を自分たちで考え、解決していこうとするのが、本来の民主的な市政の在り方です。行政職員というプロにだけ任せておくのではなく、素人の市民が学び、意見を出し合い、行政と共に作っていく手作りの市政です。

小さな声から始まる手作りの市政は、声を出せない人たちの立場も大切に、重い荷物をみんなで背負う社会を目指します。弱い人たちを犠牲にして成り立つ不条理な社会を、あきる野の市政から、変えていきましょう。

草の根市議は、小さな声をつなげる役割を果たします。



私たちも応援します！

辻さんとは自然保護活動の中で知り合いました。

3.11 以後は私が支援する福島県飯舘村に心を寄せていただき、村民の声を聞く会を2度開催していただきました。大きい者、強い者が幅をきかす社会にあって、小さい者、弱い者の声なき声をきちんとすくい上げてくれる人だと思っています。

環境ジャーナリスト 草花在住
小澤祥司

辻さんと私をつなぐキーワードは、女性問題、子育て、平和、そして環境である。特に自然環境を守ることについて、辻さんの地道な、そしてあきらめない活動は、今回の市議会議員へのチャレンジに、当然つながるものである。これからは、地球レベルでものを見、考え、地域、家族、そして人間社会の中だけでなく、あらゆる生き物との共生を実現しなければならない時代である。若い人の親の仲間として、よし子さんのチャレンジに心からの喝采を送っている。

作家 安積遊歩（障がい当事者として自立生活運動を進める。『いのちに贈る超自立論』他著書多数）

辻さんを一言で表すなら、「信頼できる方」。自分達の暮らしに直接関わる市政。私たち市民といっしょに考え、共に歩んでくれる辻さんのような信頼できる方に託したい。

にじみ出る誠実さ、真面目さ。その行動力とまっすぐに真実を見つめる慈愛に満ちた眼差し。そんな方が身近にいるということ、すごく幸せな事なんだと思う。

木を植えるレストラン・オーロラ
松尾修

長く地元の自然環境を守る活動を続け、子どもたちの健やかな育ちを応援してこられた辻さん。原発事故の問題でも、素早く動き、子どもを守る会を牽引してこられた行動力に頭が下がります。

持ち前の粘り強さと、透徹した生活者の目で、政治に良き風穴を空けてゆかれることと期待しています。

「こどもみらい測定所」代表
石丸偉丈

★1960年 国分寺市生まれ

★小学校教員を経て、個人ボランティアとしてタイの農村へ

この間の活動を『タイ教師と見た夢の国ニッポン』（1994年 ビジネス社）に記す。1995年、あきる野市へ転入。長男の出産を機に生活の基盤を日本へ移し、子育てグループ「野戯の森（やぎのもり）」を作る。

★「川原で遊ぼう会」

2000年、友人たちと「川原で遊ぼう会」を立ち上げ、平井川で自然観察会と環境保全のための活動を始める。

★脱原発の市民活動

2011年、福島原発事故に衝撃を受け、「さよなら原発～にしま～」、「チャイのネット（放射能汚染から子どもを守るあきる野ネットワーク）」を立ち上げ、活動を始める。

小学校の先生

タイでボランティア

あきる野で
環境保全の活動

3.11をきっかけに
市民参加の政治へ

「辻よし子と歩む会」
会員募集中！
年会費：1,000円（カンパ歓迎！）
郵便振替
加入者名 辻よし子と歩む会
口座番号 00140-9-430053
ゆうちょ銀行（店番）
〇一九（ゼロイチキユウ）店（019）
当座 0430053

辻よし子のプロフィール

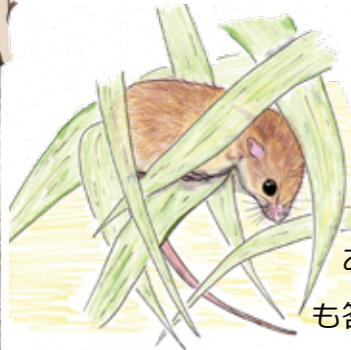


♥「辻よし子と歩む会」は、一緒に動いてみませんか？

おととしの東日本大震災と

福島原発事故をきっかけに、政治を一般市民の手元に引き寄せたいと思った無党派のあきる野市民が集まってできました。この「通信」も、有志のカンパで手作りしたものです。「もっと暮らしやすいあきる野にしたい」「緑と水の豊かなあきる野を守りたい」「自分たちの声が届く市政を」などと思っている方は、一緒に動いてみませんか？ お待ちしています。

1%の人の富を守るために、99%の人の命を使い捨てるのが戦争。うちの子もよその子も戦争にはいかせません。



★女性の視点を市政へ

あきる野の議会をのぞくと、質問をする議員も答える部課長もほとんど背広姿の男性ばかり……。市議会は身近な暮らしの課題について話し合う場であるのに、女性の姿がほんの数人しかありません。市政にもっと女性の視点を活かすことが必要です。たとえば、他の自治体では次のような取り組みをしています。

- * 女性の管理職の割合を増やすよう目標を掲げている
- * 市政に関する審議会や委員会において、女性を4割以上にするルールを作っている
- * 公共事業の入札時に、男女共同参画を進めている業者かどうかを評価項目に入れている

日本は女性議員がとて少ないんだって。あきる野市議会も21人中、女性議員は3人だけ。もっと女性議員を増やしたいね。



(イラスト: つじよしこ)

★農地・山林を大切に守る

農地と山林は、私たちの宝です。あきる野市の豊かな自然環境は、農林業を営むみなさんによって支えられています。その恩恵に与っている私たちは、農産物の価格の下落、国産材の需要の激減、後継者不足など、農林業が直面している課題についてもっと真剣に取り組まなくてはなりません。地産地消、新規就農林者の受け入れなど、すでに掲げられている方針をいかに実のある事業にしていくかが求められています。そのためには、まず何よりも当事者の生の声を大切に、実効性のある事業を進めることです。

家の近くに、地元の野菜を売る八百屋さんがあったらいいのになあ〜。

地元の間伐材をペレットストーブに利用できないかな。



取り上げたい市の課題

★生物多様性地域戦略

多様な生き物が棲む多様な環境を守ることは、今や世界的な課題です。あきる野市には、東京都の区部や多摩地域で絶滅してしまった様々な希少生物が生息しています。

辻よし子は平成21年から自然環境調査部会の委員として市内の生物調査に関わり、希少生物の生息状況を見てきました。トウキョウサンショウウオをはじめ、このままでは市内から絶滅してしまう恐れのある生き物も少なくありません。

今年度、市では生物多様性地域戦略に800万円の予算を計上しています。市の方針に基づいて保全対策を進めると共に、自然保護の視点から、開発事業を見直すことや、環境保全を目的にした観光(エコツアーなど)を取り入れること等も必要になってくるでしょう。

カエルやイモリ……昔はいくらでもいたのに、最近見なくなっただなあ…。

生き物によって棲む環境が違うから、いろいろな環境を残しておくことが大切なんだね。



★子育てしやすい環境を

一人あたりの女性が平均して何人の子どもを産んでいるか、東京都における区市部の統計を比較すると、あきる野市は第1位です*。

豊かな自然に恵まれ、のびのびと子育てできることが子どもの多さにつながっているのでしょう。このあきる野市の良さをさらに活かし、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶための場づくりを積極的に進めたいと思います。

また、母親と父親が協力して子育てをおこない、共に自分らしい充実した生き方ができるよう、保育環境や労働環境を整えることも重要です。
(*平成23年度人口動態)

子どもの成長には、身近な自然の中で遊ぶのが一番ね。

仕事と子育てで充実した毎日。でも、3人の子が同じ保育園に入れなかったのが、送り迎えが大変です。



基本政策

(討議資料)

経済成長のために大量生産・大量消費し続けること、それは限られた地球の資源を未来の子どもたちから奪うこと。